

●目的

・高齢者を対象に、かかりつけ医が日常の受診の機会をとらえ、フレイルに関する「総合的評価」を実施し、高齢者の状態に応じた介護予防サービス等につなげる仕組みをつくり、高齢者の介護予防を促進する。

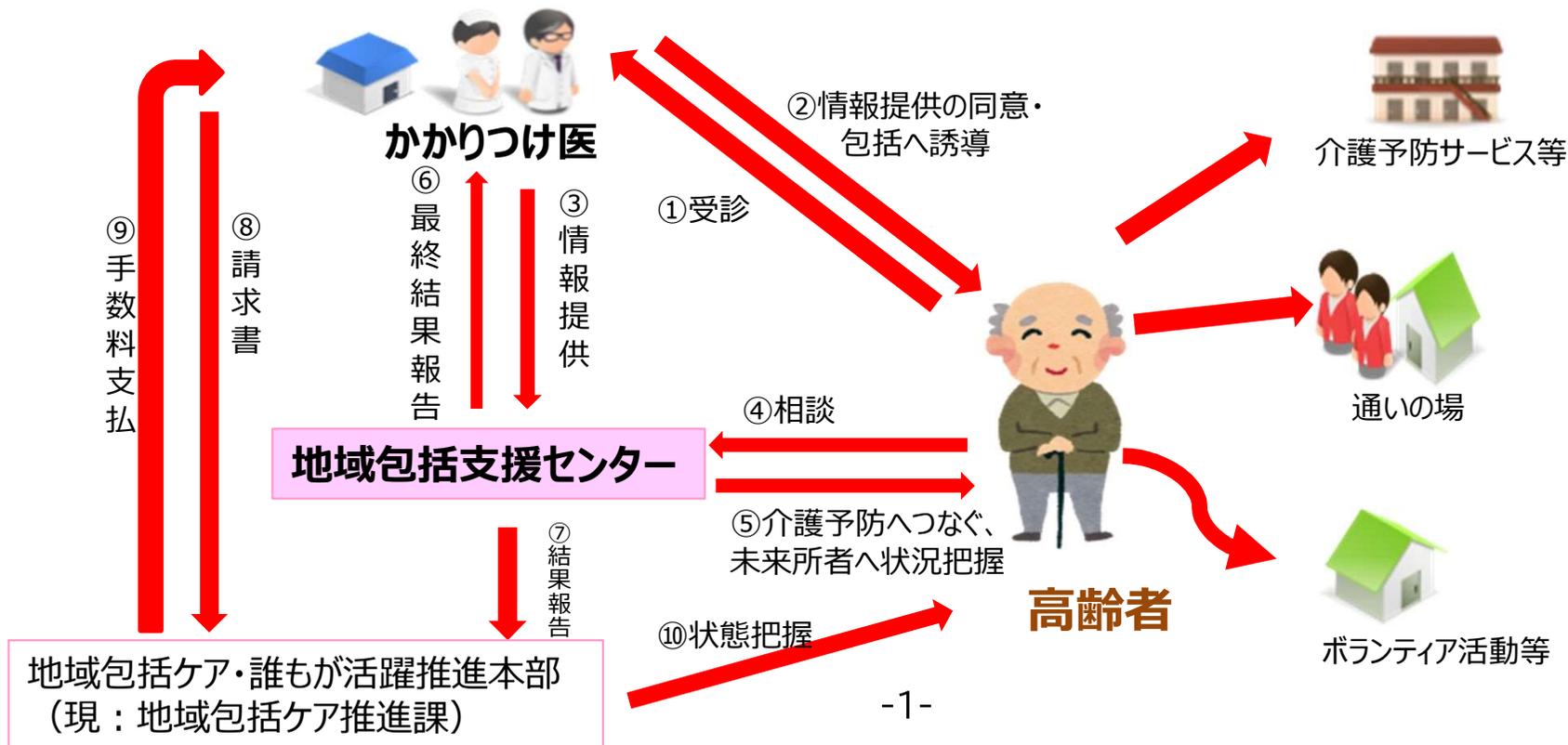
●対象

・以下、①～④の全てを満たす者

- ①75歳以上80歳未満（令和7年2月からは、65歳以上）、②介護認定を受けていない、③急性疾患を除く、④介護予防、他者との交流や社会参加の機会を増やすことが望ましいと医師が判断した方

●実施期間

・令和5年度から令和6年度まで ※令和2年度から令和4年度は県のモデル事業について、医師会が市町と連携して実施。



令和6年度の実績

(1) 概要

- ・令和6年5月15日から開始
- ・参加かかりつけ医 34件（静岡医師会27件、清水医師会7件）
- ・実施医師数 8人
- ・**総合的評価実施人数 50人**

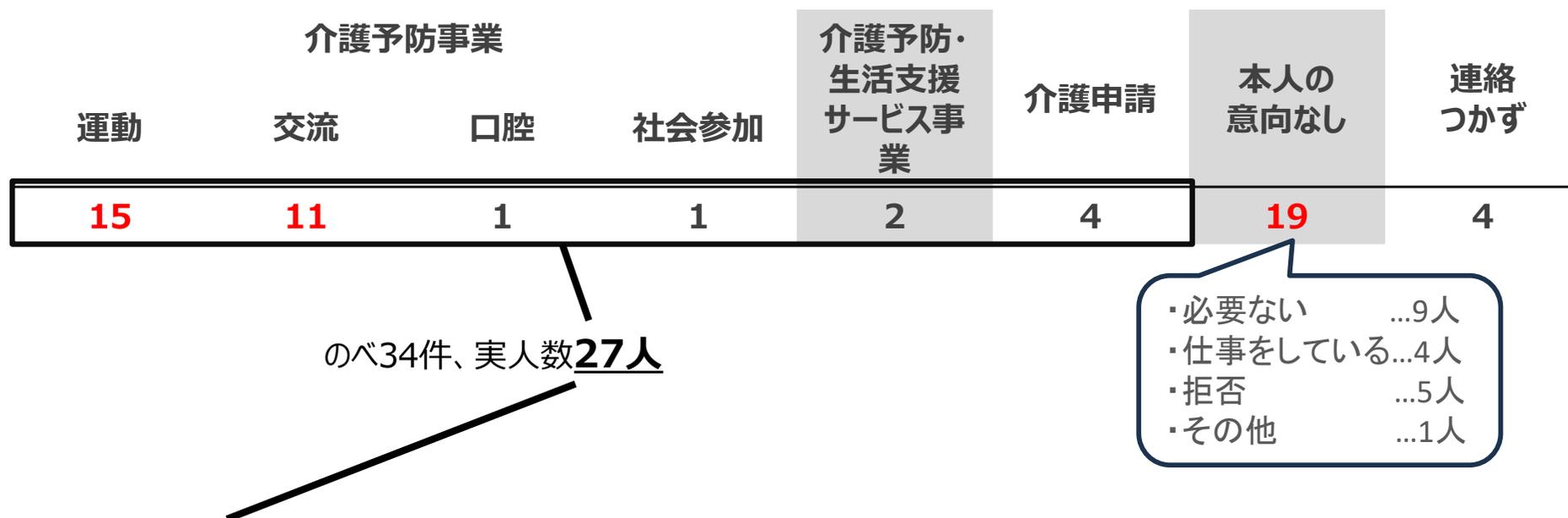
(内訳)	75歳		76歳		77歳		78歳		79歳		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
葵区	0	0	3	2	1	1	1	0	1	1	0	0
駿河区	1	3	7	3	2	5	2	2	1	4	1	0
清水区	0	1	4	1	0	0	1	1	0	0	0	1
計	1	4	14	6	3	6	4	3	2	5	1	1

(2) かかりつけ医による総合評価結果 50人・81件 (重複有)

・かかりつけ医が後期高齢者の質問票 (15項目) を基に評価

(内訳)	75歳		76歳		77歳		78歳		79歳		その他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
リスク無	0	1	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	4	5
プレフレイル	2	4	18	4	5	10	3	2	5	7	3	0	36	27
身体的	1	2	6	2	2	6	2	1	1	3	1	0	13	14
精神的	0	0	5	0	2	1	0	1	1	0	1	0	9	2
社会的	1	1	7	2	1	3	1	0	2	2	1	0	13	8
オーラル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
オーラル	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2
フレイル	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
身体的	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
精神的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
オーラル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オーラル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護リスク有	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	4	2
計	2	5	22	7	6	10	4	5	5	9	5	1	44	37

(3) 地域包括支援センターが紹介した事業 50人・57件 (重複有)



(4) (上記27人について) 地域包括支援センターから紹介された活動等を利用したか

- ・利用した 3人
- ・利用していない 20人 (理由の上位：①時間がない、②興味がない、③人との交流が嫌だ)
 ※20人中3人は、地域包括支援センターとの関わりは継続している。
- ・未回答 4人

(5) 本事業について周囲に勧めたいと思うか

- ・はい 17人
- ・いいえ 16人
- ・未回答 17人

(6) その他参加者の声

- ・日頃の健康状況をかかりつけ医に話すと、さっそく本事業に連絡をとってくださり活動の場の紹介に広げてくれた。
すでにボランティアや生活支援サービス活動に参加しているが、参加の意義を再確認し、今後もつづける意義を認識した。
- ・家族と一緒に住んでいても動けない人もいるから、地域をもう少し回って、相談に乗る方がいいと思います。
一人で閉じこもりがちな高齢者に声をかけることで、フレイルや認知症の予防につながるのは良い。
- ・まだ自分の体が1人で動くので今はまだ、あまり考えることがありませんが、これから、その時が来ると思いますので、その節はお世話になると思いますので、よろしく願いいたします。
- ・個人的には、まだ少し早いかなと思うのと何かめんどくさいと思う気持ちが強いかなと思う。事業については、良いと思う。

今後、さらに分析及び評価を行い、第2回の協議会で報告予定。